



第2期 筑後市総合戦略 (改訂版)

令和2年度～令和6年度



目次

1. 総合戦略の基本的な考え方	1
2. 施策の企画・実行にあたっての基本方針	2
3. 基本目標及び数値目標	3
4. 基本目標と基本的方向	4
基本目標 1. 希望をかなえる雇用の場を確保する.....	4
基本目標 2. 筑後市への新しい人の流れをつくる.....	7
基本目標 3. 安心して子どもを産み、育てられるまちをつくる.....	9
基本目標 4. 豊かな心を育み、筑後市に愛着を持つ人材を育てる.....	12
基本目標 5. 安全・安心で活力のあるまちをつくる.....	15

第2期筑後市総合戦略(改訂版)

2020(令和2)年度 ➤ 2024(令和6)年度

1. 総合戦略の基本的な考え方

(1) 目的

深刻化する人口減少に的確に対応し、地域経済の活性化と元気で豊かな筑後市づくりを実現することで、市民が安心して働き、希望する人が希望どおり結婚し、子どもを産み育てる喜びと豊かさを実感できるまちを目指します。

まち・ひと・しごと創生とは、次の取り組みを一体的に推進することを指します。

ま ち・・・国民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

ひ と・・・地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと・・・地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

(2) 基本的な視点

総合戦略の実施にあたっては、筑後市人口ビジョンを踏まえ、次の3つの基本的な視点から取り組みます。

- ・福岡市及び関東圏への人口流出の抑制
- ・若い世代の就労、結婚、妊娠、出産、子育ての希望実現
- ・豊かな資源と筑後市の強みを活かした活性化

(3) 計画期間

2020(令和2)年度から2024(令和6)年度までの5年間とします。

ただし、施策の進捗状況や情勢変化に柔軟に対応していくため、期間中であっても必要に応じて見直しを行います。

(4) 総合計画との関係

総合計画は、市の総合的かつ計画的な行政運営の指針を示し、長期的なまちづくりの展望を市民と共有する最上位計画です。一方、総合戦略は、人口減少克服と地方創生を目的としているため、総合計画と比較すれば、その政策範囲は限定されます。

このため、総合戦略は、第六次筑後市総合計画を踏まえたうえで、まち・ひと・しごと創生に資する特定の施策に特化した戦略として位置付けるとともに、総合計画の「成果指標」と総合戦略の評価指標である「基本目標」や「KPI (Key Performance Indicator)」の整合を図ることで、一体的に推進していきます。

総合計画の中で示している地方創生分野(まち・ひと・しごと創生に資する基本事業)を、目指すべき将来の方向として定める5つの基本目標にそって体系付けたものが総合戦略となります。

2. 施策の企画・実行にあたっての基本方針

(1)「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

人口減少の克服と本市の創生を確実に実現するため、国の総合戦略に掲げられている「政策5原則」の趣旨を踏まえて、効果的に施策を推進していきます。

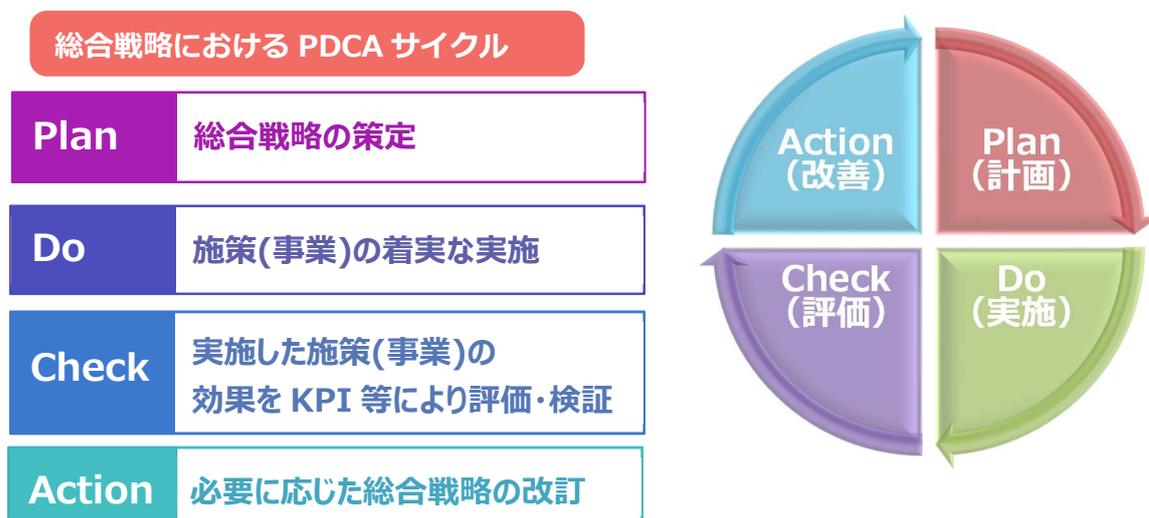
＜施策5原則＞

- ①自立性: 構造的な問題に対処し、地域、民間事業者、個人の自立につなげる。
- ②将来性: 自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組む。
- ③地域性: 地域の実情と特色に合った施策を実施する。
- ④直接性: 産官学金労言士が一体となり、直接効果の高い施策を実施する。
- ⑤結果重視: 施策成果の具体的数値目標を設定し、客観的に検証・改善する。

(2) PDCA サイクルの確立

総合戦略の推進にあたっては、市民をはじめ産・官・学・金・労・言・士[※]などの広く関係者の参画を頂き、毎年度における評価・検証とともに、その結果を踏まえ、必要に応じた計画の見直しを行うものとする。

そのため、基本目標やKPI[※](Key Performance Indicator)を評価指標としながら、PDCAサイクルによる評価・検証の仕組みを確立します。



※産官学金労言士とは：

産業界(産)、市や国などの行政機関(官)、学校などの教育機関(学)、金融機関(金)、労働団体(労)、メディア(言)、税理士などの士業(士)の略。

※KPIとは：

重要業績評価指標(Key Performance Indicator)の略。

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

3. 基本目標及び数値目標

基本目標 1. ～ちくごで働く～ 希望をかなえる雇用の場を確保する

◆市内総生産額

2024(令和 6)年度： 1,900 億円以上

2016 (平成 28) 年度：1,848 億円

◆納税者 1 人当たり所得

2024(令和 6)年度： 3,000 千円以上

2017 (平成 29) 年度：2,812 千円

基本目標 2. ～ちくごにひとを呼ぶ～ 筑後市への新しい人の流れをつくる

◆筑後市の人口（住民基本台帳登録人口）

2024(令和 6)年度： 48,800 人

2018 (平成 30) 年度：49,173 人

◆社会人口増減数

2024(令和 6)年度： 100 人増

2018 (平成 30) 年度：126 人増

基本目標 3. ～ちくごで育てる～ 安心して子どもを産み、育てられるまちをつくる

◆合計特殊出生率

2024(令和 6)年： 1.81

2018 (平成 30) 年：1.67

◆子育てしやすい環境が整っていると思う保護者の割合

2024(令和 6)年度： 80%以上

2018 (平成 30) 年度：73.5%

基本目標 4. ～ちくごを愛する～ 豊かな心を育み、筑後市に愛着を持つ人材を育てる

◆筑後市に愛着を持つ市民の割合

2024(令和 6)年度： 80%以上

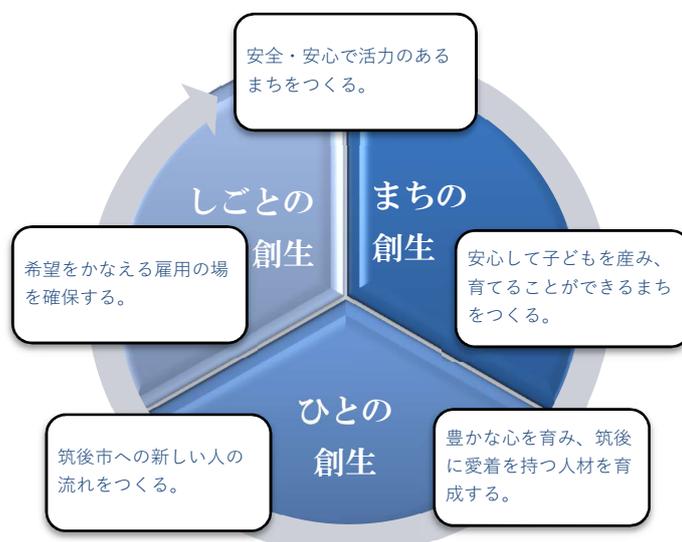
2018 (平成 30) 年度：74.9%

基本目標 5. ～ちくごで暮らす～ 安全・安心で活力のあるまちをつくる

◆将来も筑後市に住みたいと思う市民割合

2024(令和 6)年度： 90%以上

2018 (平成 30) 年度：86.7%



4. 基本目標と基本的方向

5つの基本目標の実現に向け、講ずべき施策・事業に関する基本的方向を定めます。
また、各基本事業における重要業績評価指標(KPI)や目標数値を設定します。

Ⅲ ちくごで働く

基本目標 1. 希望をかなえる雇用の場を確保する

「しごとづくり」は、まち・ひと・しごと創生の好循環を生み出す重要分野であり、企業誘致及び創業支援などによる雇用の拡大と、事業所の経営安定化を図ることで、雇用の安定化を実現します。若い世代の雇用の場を確保し、女性や高齢者など誰もが活躍し能力を十分に発揮できる地域社会を実現します。

また、筑後市の主要産業のひとつである農業を、若者にとって魅力的な産業とするための取り組みを進めると同時に、新規就農希望者へ筑後市の農業を積極的にPRしていくことで、新規就農者数の拡大を目指します。

基本事業1-1 企業誘致・留置の推進

筑後市の立地環境と立地ニーズに関する調査によると、福岡市と熊本市の中間に位置する筑後市の立地環境や九州自動車道、九州新幹線等の広域交通の利便性の高さが高く評価されています。立地可能性のある企業の開拓に向け情報発信等の充実を図り、また、優遇措置の充実により、企業誘致のみならず、企業留置を推進します。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
企業誘致件数<累計>	2件 (H28~30年度)	5件 (R2~4年度)	7件 (R2~6年度)
資本金1億円を超える事業所数	138事業所	138事業所	140事業所



基本事業1-2 事業所の経営安定化と市内購買力強化

コロナ禍の中、地域経済の回復・持続的な発展を図るため、筑後商工会議所や市内金融機関との連携により、中小企業融資事業などの市内事業所の経営安定に向けた中小企業支援施策に取り組みます。また、市内スーパー等や既存商店街店舗の活性化に取り組むことで、市内における購買力を維持します。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
黒字化している事業所割合 (法人税割を納めている事業所の割合)	48.0%	50.0%	44.6%
日用品を市内で買っている市民の割合	83.2%	83.2%	83.2%

基本事業1-3 創業・事業開発への支援

商工会議所と連携し、創業・新規事業者の育成を行い、また、創業等に欠かせない資金調達のため創業補助金など市内金融機関等と連携した経済的支援を行うことで、意欲ある人材を育成・支援します。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H28~30年度)	中間目標値 (R2~4年度)	目標値 (R2~6年度)
創業・新規事業進出件数<累計>	32件	35件	50件

基本事業1-4 雇用の安定と確保

市民が安心して働くことができる環境を整えるため、地元で働くことを希望する人と企業とのマッチングの機会の提供を行います。また、地元企業の人手不足を解消することで企業が活力を見出し、雇用の安定と確保を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
合同会社説明会・面談会来場者数	50人	100人	100人

基本事業1-5 施設園芸等農業の展開

いちご、とまと等の施設園芸作物や茶等の特産作物は、高収益作物と言われます。収益性の高い安定した農業経営が確保できる作物です。

国、県事業を活用し、施設・機械の新設、改修等の支援を行うことで、生産コストの低減や農作業の省力化、品質の向上に繋げ、付加価値の高い施設園芸及び特産作物の産地としての継続に努めます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目標値 (R6 年度)
園芸、特産作物の栽培面積	190.5ha	190.5ha	190.0ha
園芸、特産作物の販売額	245.3 億円	250.0 億円	250.0 億円

基本事業1-6 生産体制の維持

筑後市は、他自治体に先駆けて、農業、農村地域を持続するためにその中心的担い手としての「農事組合法人」の設立を推進し、全国でも担い手への農地集積率[※]は高い水準にあります。引き続き、将来的に持続可能な生産体制を確立することで、適切な農地の維持に努めます。

市内・外からの新規就農者の確保、育成を県、JA 等の関係機関と連携して取り組み、農事組合法人や個人認定農業者等の担い手を中心とした農業生産体制の構築に努めます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目標値 (R6 年度)
担い手が経営している市内農地の集積率	72.3%	74.0%	74.0%
新規就農者数<累計>	4 人 (H30 年度)	15 人 (R2~4 年度)	42 人 (H30~R6 年度)

※担い手への農地集積率：認定農業者等の大規模経営体が耕作している農地の割合



基本目標 2. 筑後市への新しい人の流れをつくる

若い世代の福岡市をはじめとする都市圏への流出が顕著であり、これが生産年齢人口の減少に大きく影響しています。筑後市の特徴である、「交通の便の良さ」「生活環境の良さ」等を積極的にPRしていくことにより、福岡市等都市圏からの若年層の転入促進を図り、生産年齢人口の維持・増加に努めます。また、コロナ禍でテレワークの普及が進む中、仕事を変えずに地方に移住する「転職なき移住」が可能となりました。この機をとらえて、程よい田舎暮らしをPRしていきます。

そして、筑後市の認知度を高めて実際に足を運ぶ機会を増やすことが移住促進につながるため、HAWKS ベースボールパーク筑後及び九州新幹線筑後船小屋駅を基軸とした観光プロモーションを推進すると同時に、「恋のくに筑後」としてのブランドイメージを引き続きPRしていくことで、多くの人々の来訪意欲を喚起するとともに、筑後市の魅力を広く発信します。

コロナ禍により、観光業界は大きな打撃を受けました。これから回復し、再び成長させるために、感染対策を徹底した「安全安心な観光」を主眼に、魅力ある観光イベントを開催していきます。

さらに、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」の創出・拡大に向けた取組の検討を進めます。

基本事業2-1 転入の促進と転出の抑制

一度筑後市を離れた若者を呼び戻す U ターン施策や都市圏からの I ターン・J ターン施策に取り組み、筑後市への移住・定住を推進します。また、若年層の転入促進に寄与している結婚新生活家賃支援事業を継続し生産年齢人口の維持・増加に努めます。

転出者の過半数を占める若年層の流出に歯止めをかけるため、地元の高校や大学と連携して市内(近郊含む)企業の認知度を高める取り組みや若者が住み続けたいと思う魅力的なまちづくりを進めます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目標値 (R6 年度)
転入者数(外国人含む)	2,481 人	2,400 人	2,400 人
転出者数(外国人含む)	2,355 人	2,300 人	2,300 人
居留意欲度の県内順位	8 位	7 位	6 位

基本事業2-2 魅力ある観光事業の推進

市内観光イベントは、イベントの統合により来場者数は減少が見込まれますが、筑後市の観光資源や観光スポットを活かした魅力ある内容とすることで来場者数を確保し、交流人口^{*}の維持に努めます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
市内観光イベントの来場者数	136,200人	128,500人	70,200人

※交流人口：その地域に観光などで訪れる（交流する）人のこと

基本事業2-3 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

HAWKS ベースボールパーク筑後及び九州新幹線筑後船小屋駅を基軸とした観光振興を、近隣自治体(筑後七国等)との連携により積極的に進めていきます。その中で、HAWKS ベースボールパーク筑後をはじめとした筑後船小屋駅周辺施設にて、各自治体が誇るグルメ・景勝地・フォトスポットなどの魅力情報を発信することで周遊促進につなげます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
HAWKS ベースボールパーク筑後の平均観戦者数	2,001人	2,200人	2,200人
筑後船小屋駅周辺施設 [*] の入込客数	654,700人	720,500人	527,600人

※筑後船小屋駅周辺施設：恋ぼたる、九州芸文館、船小屋温泉郷、HAWKS ベースボールパーク筑後、福岡県営筑後広域公園

基本事業2-4 観光情報の発信

福岡ソフトバンクホークスや観光資源、イベント情報などの積極的な情報発信を行い、メディアへの露出件数の増加を目指すことで、知名度の向上を図ります。

また、恋のくに筑後としてのブランドイメージによる魅力発信を継続して行い、観光意欲度の向上を図り、交流人口の増加につなげます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
観光プロモーションによるメディア露出件数	478件	500件	400件
観光意欲度の県内順位	12位	10位	10位

基本目標 3. 安心して子どもを産み、育てられるまちをつくる

筑後市における生涯未婚率は年々上昇しています。全国や福岡県と比較すると低い数値ですが、今後も高くなることが懸念され、結婚しない人が増加すれば子どもの出生数に影響を与えることとなります。若者の出会いや結婚を支援することで、市民の希望出生率 1.96 の達成を目指します。

子育て世代の仕事と家庭の両立を図るためには、保育所や学童保育所等の待機児童の解消が最重要課題で、保護者のニーズに対応した保育の受け皿を確保する必要があります。安心して出産できるよう母子保健の充実に努めるとともに、出産後も働き続けることができるよう子育て不安の軽減やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の確保を含めた総合的な子育て支援に取り組みます。

少子化や核家族化あるいは地域における人と人のつながりの希薄化が進み、家族や子育てに対する不安や悩みはどの家庭にも起こりうるものと考えする必要があります。子育て世帯の不安感・負担感を軽減し、安心して子育てができるように、地域のすべての子どもや家庭、妊産婦を対象に包括的で継続的な支援を行うための体制作り等に取り組みます。

基本事業3-1 家族形成の支援

生涯未婚率は、全国的に上昇傾向にあり、筑後市も1990(平成2)年から2020(令和2)年にかけて、男性 5.0 倍、女性 3.6 倍に増加しています。また晩婚化や晩産化が進行しており少子化の原因の一つとなっています。

出逢いや結婚のきっかけとなる交流の場の創出を推進し、将来の結婚を見据えたパートナー探しのサポートに取り組み、併せて、子供と子育てを応援する社会の実現に向けて、国、県、関係団体等の幅広い連携・協力の下で、家族や地域の大切さ等について理解の促進を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目標値 (R6 年度)
若年層有配偶者率 (18 歳～49 歳)	51.4%	51.0%	51.0%



基本事業 3-2 ひとり親家庭等の自立支援の推進

ひとり親等世帯は、年々増加傾向にあり、児童扶養手当受給者数は2014(平成26)年から2018(平成30年)にかけて5ポイント伸びています。

生活の安定や自立促進のため、児童扶養手当の支給を行うとともに、就職に結びつく教育訓練講座を受ける際の費用助成や、看護師・介護福祉士・保育士等の資格取得のため、養成講座で修行する際の経済的支援等に取り組みます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
ひとり親家庭等の自立支援推進事業の利用者数	11人	19人	12人

基本事業 3-3 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

保育の担い手(保育士・放課後児童支援員等)の確保や学童保育所の児童受入枠拡大等に取り組み、待機児童ゼロを継続します。

また、私立保育所への障害児受入れ支援等の取り組みにより、障害児保育の充実を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
保育所等の待機児童数(4月)	18人	0人	0人
学童保育所の待機児童数(5月)	43人	0人	0人
私立保育所等の障害児受入れ数	6人	-	20人

※私立保育所等の障害児受入れ数：筑後市障害児保育補助事業の対象障害児数

基本事業 3-4 切れ目ない支援による子育て不安の軽減 重点

少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化などの社会環境の中で、子育て中の親子の孤立化を防ぐため、子育て支援拠点施設や地域コミュニティを活用し、親子が集い、保護者同士の繋がりを持てる機会を増やします。また、高齢者、学生などの多世代と親子の交流の場づくりを進めます。

子育てに関する相談を気軽にできる環境づくりに努めるとともに、相談機関に関する情報を発信し、保護者の不安軽減を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現 状 値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目 標 値 (R6 年度)
子どもの発達過程を知っている保護者の割合	89.7%	93.0%	93.0%
育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	88.0%	90.0%	90.5%
保護者 1 人当たりの、子育てについて相談できる相手、または相談できる機関の数(配偶者や親族を除く)	1.5 人(機関)	1.7 人(機関)	1.7 人(機関)

基本事業 3-5 子どもの健やかな成長の支援

安心・安全な出産ができるように、妊婦健康診査や保健指導等により母体の健康管理支援を行います。

また、乳幼児健康診査や教室、相談等により、子どもの成長発達の確認、病気の早期発見・早期治療、早期療育につなげるとともに子育てに対する不安軽減を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現 状 値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目 標 値 (R6 年度)
低出生体重児の出生率	11.3%	10.0%	9.0%
乳幼児健診で要精密検査となった者の受診率	87.5%	90.0%	89.0%

基本事業 3-6 男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発

「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識を是正するためのセミナーや講演会を開催するとともに、市ホームページや広報紙など多様な媒体を利用して、国・県の情報を含め、市民や市内企業に情報提供を行い、男女共同参画社会の意識啓発を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現 状 値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目 標 値 (R6 年度)
「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合	43.7%	50.0%	52.0%

基本目標 4. 豊かな心を育み、筑後市に愛着を持つ人材を育てる

豊かな心を育み、筑後市に愛着を持つ人材を育てる基盤となるのが教育、生涯学習です。価値観やライフスタイルの多様化もあり、地域における人間関係の希薄化が社会問題となり、地域や家庭の教育力が低下してきていると言われています。

このような中で、子どもたちの社会を生きぬく力を育むために、学校教育の充実を図るとともに地域の教育力を活かした青少年健全育成を推進します。また、市民誰もが、健康で生きがいを感じることができるような生涯学習・スポーツの推進を図ります。

さらに、郷土の歴史や伝統・文化を愛する市民の育成を図るとともに、筑後広域公園や HAWKS ベースボールパーク筑後などを活かしたスポーツ振興による魅力的なまちづくりを目指します。

基本事業 4-1 豊かな心の育成

豊かな心の育成の基盤となるのが、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の推進です。道徳の授業において、道徳的価値への理解を深め、自分の生き方について考えます。また、学校行事や表現活動、読書活動等において、感性を豊かにしていきます。これらを通して、規範意識の向上や好ましい人間関係を構築する力などの「豊かな心」につながる資質・能力の育成を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目標値 (R6 年度)
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合	84.8% (R3 年度)	-	85.0%
毎日朝食を食べている小学6年生の割合	91.3%	93.0%	95.0%
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合	86.7% (R3 年度)	-	85.0%
毎日朝食を食べている中学3年生の割合	90.4%	92.0%	93.0%

基本事業 4-2 小中連携・地域連携の推進

総合的な学習の時間等を活用し、地域の「ひと・もの・こと」について学んだり、コミュニティスクール活動を通じて、地域と学校が連携・協働して子ども達の学びを実現したりすることで、筑後市に愛着を持つ人材づくりを進めます。

また、小中連携の強化により「子ども理解の一貫性」を追求し、学校になじめない子どもを発生させない取り組みを進めます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
学校関係者評価において、学校と地域との連携がとれていると認められた学校(小学校)の割合	77.3% (R3年度)	-	90.0%
1000人当たり不登校生徒の出現率(全国平均を100とした場合)(過去3年平均)	77.0pt (H27~29年度)	70.0pt (R2~4年度)	95.0pt (R4~6年度)

基本事業 4-3 生涯学習の推進

市民が主体的に学び、その成果を自らの生活や仕事に活かすとともに、学び合いを通じて地域のつながりを強め、よりよい地域づくりに主体的に取り組む、いわゆる「学びと活動の好循環」を目指します。このため、市民相互の学習活動を促進するとともに、地域づくりのリーダーとして学んだ成果を地域に活かせるよう支援します。

また、学びの場である社会教育施設や図書館の利用者数の増加に取り組めます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
生涯学習の機会に満足している市民の割合	15.3%	17.0%	16.0%
社会教育施設※の年間利用者数	234,244人	240,000人	230,000人
図書館を利用している市民の割合	29.1%	30.0%	30.0%

※社会教育施設：サザンクス筑後、中央公民館（サンコア）、北部交流センター（チクロス）

基本事業 4-4 生涯スポーツの推進

心と体の健康・体力の保持や増進はもとより、家族や友人との交流、地域のコミュニティづくり、自己実現と心の豊かさを求めて、各自の年齢や体力に応じた「する・みる・支える」を基本方針としたスポーツ事業を展開し、コロナ禍で停滞した活動を回復させて、スポーツによる元気なまちづくりを行います。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合	51.8%	50.0%以上	50.0%以上
競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合	30.3%	40.0%	30%
1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合	8.0%	8.0%	7.0%

基本事業 4-5 文化財の保護と活用

市民の郷土に対する愛着心を育み、郷土の歴史・伝統文化・文化財を伝えていくため、文化財施設や市内に点在する文化財を活用するとともに、市の公共施設で地域の歴史・文化財の情報発信や展示などの文化財活用・啓発事業を実施します。また、市民の郷土への関心が高まり、貴重な伝統文化・文化財が次世代につながるよう、地域や文化財保存団体、関係機関などと連携・協力し、文化財の保護と活動を支援します。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
指定文化財※のき損・滅失・亡失・盗難件数	4件	0件	0件
市民が活用した無形指定文化財等の件数	5件 (R3年度)	-	5件

※指定文化財：石人山古墳、船小屋ゲンジボタル発生地、水田天満宮本殿、山樞窟、熊野神社眼鏡橋、光明寺石造九重塔、坂東寺石造五重塔など

基本事業 4-6 青少年教育・体験活動の推進

地域のつながりや人間関係が希薄になる中、家庭や学校だけではなく社会全体で子どもを育てていく環境をつくるため、次世代育成をキーワードに、交流事業や体験活動、人材育成事業などを実施することにより、子どもたちの「生きぬく力」を育みます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
青少年体験活動に満足している参加者の割合	90.0%	90.0%	90.0%以上

基本目標 5. 安全・安心で活力のあるまちをつくる

人口減少や少子高齢化が進行する中で、活気あふれる地域をつくるためには、女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、一人ひとりが個性と多様性を尊重され、それぞれの能力を発揮でき、生きがいを感じながら暮らすことができる地域社会を実現することが重要です。

また、全国各地で地震や局地的集中豪雨などの自然災害が頻発しており、災害時に避難支援が必要な市民の増加や救急出動件数の増加が見込まれます。今後も自主防災組織と消防団の充実、強化により地域防災力の向上を図りつつ、共助の力を育み、住民同士が交流しながら、つながりを持って支え合うコミュニティの形成に向けて取り組みます。

基本事業 5-1 地域防災力の向上 重点

地域防災力の向上を図るためには、市民一人ひとりの防災意識を向上させる必要があります。そのために、自主防災組織の充実、強化を進め、防災訓練等の支援を行います。

また、災害時の避難行動に支援が必要な市民に対しては、対象者毎に個別避難計画の作成を推進するとともに、計画作成を通じて地域の支援者が支え合う仕組みづくりを構築していきます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30 年度)	中間目標値 (R4 年度)	目標値 (R6 年度)
家庭での災害時の備えの取り組み項目数(13 項目中)	3.3 項目	6.5 項目	5.4 項目
個別避難計画が作成されている要支援者の割合	6.5%	9.8%	12.6%

※避難行動要支援者支援制度：災害時に自力で避難することが困難と思われる方を対象に、地域の方の手助けで避難を行うための制度



基本事業 5-2 空き家の適正管理

全国的に空き家の増加や放置が問題となっています。筑後市においても、空き家が増加傾向にあり、筑後市空き家等の適正管理に関する条例に基づき、空き家等の適正管理に努めます。

その対策として、放置すると倒壊の恐れがあるなど、危険又は有害と判定された空き家には、補助制度の活用により除却を促進します。また、空き家バンク制度[※]を推進し、空き家の利活用を促します。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H28~30年度)	中間目標値 (R2~4年度)	目標値 (R2~6年度)
老朽危険家屋の除却件数 ＜累計＞	8件	6件	24件
空き家バンク取引成約件数 ＜累計＞	39件	30件	39件
空き家バンク登録件数 ＜累計＞	80件	60件	88件

※空き家バンク事業：市の定住人口の増加及び活性化を図るため、市内に存在する空き家等の売却又は賃貸を希望する所有者等からの申し込みを受け、登録した空き家等に係る情報を空き家等の利用を希望する人に紹介する事業。

基本事業 5-3 消防団の充実強化

消防団員の就業形態に占める被雇用者率が増加するなか、平時(平日昼間)に災害活動に従事できる消防団員を確保するため、消防団協力事業所表示制度^{※1}に基づく事業所の認定を推進します。

また、消防団員の処遇改善に係る取組みとして、出勤報酬額や訓練負担等を見直すとともに、今後の人口減少等を見据え、持続可能な消防団組織の構築を目的とした、「機能別消防団員制度^{※2}」の導入に取り組めます。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
平時にすぐに消防活動ができる 団員の割合	44.0%	45.0%	45.0%

※1 消防団協力事業所表示制度：事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度。

※2 機能別消防団員制度：能力や事情に応じて特定の活動のみに参加する消防団員の活用を目的とした制度。

基本事業 5-4 地域コミュニティ活動の活性化

重点

地域を取り巻く環境は、少子高齢化への対応、地域連帯感の醸成、安全・安心な暮らしの確保など、さまざまな課題があります。特に近年はコロナ禍による生活様式の変化により、地域社会における人間関係の希薄化が深刻化しつつあります。このような中、市では、地域組織の役割や活動の重要性を広く周知し、行政区及び校区コミュニティ協議会、市民活動団体が相互に連携協力し、主体的にまちづくりに参画する協働のまちを目指しています。多様な主体が安心して地域の課題解決に向けた取り組みを実施できるように助言や支援を行い、地域活動の活性化を図ります。

◆重要業績評価指標【KPI】

目標指標	現状値 (H30年度)	中間目標値 (R4年度)	目標値 (R6年度)
身近な地域活動が盛んであると感じている市民の割合	-	-	40.0%
行政区加入率	94.5%	94.5%	94.5%

表紙(筑後市オリジナル婚姻届)

筑後市では、結婚・出産を迎えた方々を社会全体で温かく祝福し、結婚・出産をより思い出に残るものにしていただくため、令和4年度にミキハウス子育て総研株式会社と共同でオリジナルデザインの婚姻届と出生届を作成しました。

このオリジナル婚姻届・出生届は、出会いの場である恋活イベントに参加した独身男女からの意見やアイデアを基に、全国で使用されている母子手帳や、ミキハウス子育て総研株式会社の「Happy-Note」にもイラストを提供しているイラストレーターのセキ・ウサコ氏によってデザインされました。

表紙に利用した「婚姻届」は、恋木神社のハートの参道で回りを囲み、その参道を歩いている新郎新婦。そして、その二人をはね丸、パネコ、ポネコが祝福しているデザインとなっています。

もう一つの「出生届」は、広域公園をイメージし、赤ちゃんを運んでくるコウノトリ、たくさんの風船が空を飛び、手をつないだ幸せな親子とはね丸、パネコ、ポネコが仲良く歩いているデザインとなっています。

オリジナル婚姻届

The image shows a marriage certificate form with a colorful, decorative border. The border includes a shrine (恋木神社), a couple walking down a path, and cute characters (はね丸, パネコ, ポネコ). The form itself has fields for names, addresses, and dates, with a 'Notice of Marriage' (婚姻届) title.

The image shows a birth certificate form with a colorful, decorative border. The border includes a crane (コウノトリ), balloons, and a family walking in a park. The form has fields for the child's name, date of birth, and parents' information, with a 'Notice of Birth' (出生届) title.

オリジナル出生届



発行日:令和5年3月
編集:企画調整課
〒833-8601 筑後市大字山ノ井 898 番地
TEL 0942-53-4111 FAX 0942-52-5928
URL <https://www.city.chikugo.lg.jp/>